



# 図書館だより 6月

梅雨入りの知らせもあちこちで聞かれるようになりました。湿度も気温も高くなり、体調を崩しやすい時期です。健康管理に気を付けましょう。

雨の日は登下校もたいへんですが、この時期の雨がやがて豊かな作物の実りにつながる恵みの雨だと考えると味わい深いものを感じられますね。

あじさいに 君の言葉を 教えたり 雨待ちながら 歩む水の辺 江戸 雪



## 第69回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

今年度の課題図書です。図書室にありますので、ご利用ください。



「タガヤセ！日本」  
白石 優生

農業っておもしろい！

「ラブカは静かに弓を持つ」  
安壇 美緒

深海魚の一種、「ラブカ」のようにひっそり生きてきた青年が、上司命令で音楽教室に潜入調査へ。身分を偽り、通い始めた教室で、師や仲間と出会いチェロを奏でる歓びに目覚めていく…。

「昆虫の惑星」  
アンヌ・スヴェルトルップ

ヒトは、多くを昆虫に依存している。北欧の女性昆虫学者が、奇妙で美しく風変わりな虫たちの世界へ誘うノン・フィクション。



## 新着図書

「ある行旅死亡人の物語」 武田 惇志・伊藤 亜衣

2020年4月。兵庫県尼崎市のアパートで女性が孤独死…。現金3400万円、星形マークのペンダント、数十枚の写真、古ぼけたぬいぐるみ…。わずかな手がかりをもとに、記者2人が警察も探偵も解明できなかった身元調査に乗り出す。記者が見つけた真実とは？推理小説のように思わず一気に読んでしまう**圧倒的ノンフィクション**！

「ウクライナから来た少女スラータ 16歳の日記」 スラータ・イヴァシュワ

もしも戦争になったら…。「あきらめる」「戦う」「逃げる」あなたならどうする？全財産16万円を持って日本避難に運命をかけた140日の少女の日記。同年代の思いを読んでみよう。彼女の絵もたくさん掲載されている。**感想文にもおすすめ**。

「名探偵のままでいて」  
小西 マサテル  
「恋とそれとあと全部」  
住野 よる  
「火持りの王」1~4、外伝  
日向 理恵子

「歴史学のトリセツ」 小田中 直樹  
「ものがわかるということ」 養老 孟司  
「宇宙最強物質決定戦」 高水 裕一  
「学校するからだ」 矢野 利裕

他にも多数！人気作はお早めに。

さあ、図書館へGO！